

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公開番号】特開2008-29632(P2008-29632A)

【公開日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-006

【出願番号】特願2006-206879(P2006-206879)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月15日(2009.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パチンコ島設備からの電源電圧が供給される電源基板と、遊技球の入球を検出する検出スイッチからの検出信号に基づいて遊技の進行を制御するマイクロプロセッサを備えた主制御基板と、を備えたパチンコ機であって、

前記電源基板には、

前記パチンコ島設備からの電源電圧から前記検出スイッチに供給する検出スイッチ供給電圧を作成する検出スイッチ供給電圧作成回路と、

該検出スイッチ供給電圧作成回路が作成した前記検出スイッチ供給電圧から前記主制御基板に供給する制御基板供給電圧を作成する制御基板供給電圧作成回路と、

を備え、

前記主制御基板には、

前記検出スイッチ供給電圧作成回路が作成した前記検出スイッチ供給電圧の低下と、前記制御基板供給電圧作成回路が作成した前記制御基板供給電圧の低下と、を監視し、前記検出スイッチ供給電圧と前記制御基板供給電圧のいずれか一方の電圧が予め定めた電圧より小さくなると、停電予告として停電予告信号を前記マイクロプロセッサに出力する停電監視回路

を備え、

前記マイクロプロセッサは、

前記停電予告信号が入力された際に、当該マイクロプロセッサの内蔵 R A M に記憶されている情報を数値とみなしてその合計を算出する停電予告時サム値算出制御手段と、

該停電予告時サム値算出制御手段が算出した値を前記内蔵 R A M に記憶する停電予告時サム値記憶制御手段と、

該停電予告時サム値記憶制御手段による記憶のあと、当該マイクロプロセッサにリセットをかける停電予告時リセット制御手段と、

該停電予告時リセット制御手段によるリセット後に前記内蔵 R A M に記憶されている情報を数値とみなしてその合計を算出するリセット後サム値算出制御手段と、

該リセット後サム値算出制御手段が算出した値と、前記停電予告時サム値記憶制御手段が記憶した値と、が一致しているか否かを判定するサム値判定制御手段と、

前記内蔵 R A M に記憶されている情報を消去する情報消去制御手段と、
当該マイクロプロセッサの内蔵 R O M から初期情報を読み出す初期情報読出制御手段と

、
該初期情報読出制御手段が読み出した前記初期情報を前記内蔵 R A M に記憶する初期情報記憶制御手段と、

前記サム値判定制御手段により、前記リセット後サム値算出制御手段が算出した値と、
前記停電予告時サム値記憶制御手段が記憶した値と、が一致していると判定されたときには、前記内蔵 R A M に記憶されている情報に基づいて復帰する第 1 の復帰制御手段と、

前記サム値判定制御手段により、前記リセット後サム値算出制御手段が算出した値と、
前記停電予告時サム値記憶制御手段が記憶した値と、が一致していないと判定されたときには、前記情報消去制御手段により前記内蔵 R A M に記憶されている情報を消去したあと、
前記初期情報読出制御手段により前記内蔵 R O M から読み出された前記初期情報を前記初期情報記憶制御手段により前記内蔵 R A M に記憶し、その記憶された当該初期情報に基づいて復帰する第 2 の復帰制御手段と、

を備えることを特徴とするパチンコ機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のパチンコ機であって、

ベース部材と、該ベース部材に組み合わされるカバー部材と、の間に前記主制御基板が収容される基板ボックス

を備え、

前記基板ボックスは、封印ねじを用いて前記ベース部材と前記カバー部材とを相互に締結することで封印され、前記基板ボックスを開封する開封部に切除部が設けられ、該開封部を切断する際に、該切除部が切除されることを特徴とするパチンコ機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

本発明の請求項 1 においては、瞬停による不正行為に影響されない。本発明の請求項 2 においては、切除部を目視することによって基板ボックスの開封有無を容易に確認にすることができ、また主制御基板の改変有無の確認に役立つ。